

### 第3回 宇和島市立伊達博物館建替委員会 会議録

- 日 時 令和元年7月25日(木) 13:00～15:00
- 場 所 宇和島市役所A棟会議室
- 出席者 [宇和島市立伊達博物館建替委員会委員(順不同、敬称略)]  
岡原文彰、玉田光彦、金瀬聡、山田芳人、日前賢一郎、清家康生  
中平政志、伊達宗信、二宮信彦、廣瀬孝子、木村宗慎、本田耕一  
永田幸子、藤堂真二、三好めぐみ、二宮一之、田中広興  
[事務局]  
教育部長  
文化・スポーツ課(課長、課長補佐)  
伊達博物館(館長、係長、学芸員)  
株式会社トータルメディア開発研究所
- 議 事 (1) 報告・説明事項
  - ①基本計画策定支援業者の特定について
  - ②先進地視察の報告について
  - ③基本構想案に対するパブリックコメントの結果について(2) 協議事項
  - ①伊達博物館改築事業基本構想の策定について
  - ②専門部会(立地複合施設部会)への諮問について
  - ③専門部会の設置及び部会長の指名について(3) その他

---

#### 次 第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議事
- 4 閉会

## ■会議の記録

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1 開 会              | (事務局による司会進行)   |
| 委員長                | (委員長挨拶) <ul style="list-style-type: none"><li>・基本計画策定支援の業者も加わり、具体的な議論を進めていく段階になった。</li><li>・本日は基本構想を最終的な形にしていく。</li></ul>  |
| 2 委員紹介             | (初参加の委員より挨拶)   |
| 3 議事               |  |
| (1) 報告・説明事項について    |  |
| ①基本計画策定支援業者の特定について |  |
| 事務局                | <ul style="list-style-type: none"><li>・プロポーザル方式により、トータルメディア開発研究所を特定した。</li><li>・今後の基本計画の策定については同社に支援していただく。</li></ul><br><p style="text-align: right;">(トータルメディア開発研究所出席者より挨拶)</p>                |
| ②先進地視察の報告について      |  |
| 事務局<br>(学芸員)       | <ul style="list-style-type: none"><li>・7月上旬、2泊3日で委員、事務局合計13名で石川県金沢市にある6つの美術館、博物館を視察した。</li><li>・それぞれの長所、短所を把握でき、非常に参考になった。</li><li>・参加者の意見や感想も集約した。</li><li>・今後の展示計画や設備機能の検討に反映していきたい。</li></ul> |

A委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の視察では、本来見ることのできないバックヤードも見学させていただいた。</li> <li>・計画策定に際しては、現場に立つ学芸員の考えを積極的に取り入れてもらいたい。</li> </ul>
B委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢市は新幹線開通を契機に、元々持っていた歴史文化を活かして、行政や各文化施設が戦略的にまちづくりを進めていった。</li> <li>・都市の規模の大小はあるとしても、参考にすべきことはたくさんあった。</li> </ul>
C委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察したある施設では、「見て終わり」ではなくて、思索できる空間が用意されていたことが新鮮だった。</li> </ul>
D委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある美術館では子育て支援機能もあり、小さなホールもあって機能は多岐にあったが、それぞれが融合しており、複合施設と感じ取れなかった。</li> <li>・新博物館も他機能を複合させる予定ではあるが、親和性の高いものや意匠を工夫するなどすれば違和感の無いものになる。</li> </ul>
E委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢は、単独の施設で完結するのではなく、施設から施設へまちが広がり、観光の動線がつながっている。</li> <li>・新博物館の建設も、まちづくりの一環として捉え、歴史文化に興味が無い人でも行きたくなる施設になって欲しい。</li> </ul>

### ③基本構想案に対するパブリックコメントの結果について

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月10日から28日まで、基本構想案に対するパブリックコメントを求め、2名から10件の意見をいただいた。</li> <li>・意見は基本構想案自体に対する内容ではなく、今後のための提案がすべてであったため、案に対しては一定の理解が得られたと解釈している。</li> </ul>
-----	--

## (2) 協議事項

### ①伊達博物館改築事業基本構想の策定について

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・各委員からの意見により、文言の修正を行った。</li><li>・先進地視察で感じたことを踏まえ、修正があれば協議いただき、再度の推敲をお願いしたい。</li></ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"><li>・事務局案に対し、何か意見はないか。</li></ul>
A委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・電気設備の災害への備えに関する記述が不十分ではないか。</li></ul>
D委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・基本構想の記述については今後の検討事項も含まれている。</li><li>・機械室や空調室といった具体的な施設よりも、機械設備、空調設備という表現にすれば総括できる形になるのではないか。</li></ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"><li>・両委員の意見を踏まえ、再度修正を願いたい。</li></ul>
B委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・基本理念について、より明確にビジョンを打ち出すべきでは。</li><li>・ソフト面では、宇和島城下だけでなく地域の歴史文化の再生、共創の象徴となってほしい。</li><li>・ハード面では、新しい宇和島の表情を作るきっかけとなるべきで、新しいまちづくりや景観の美しさの象徴となってほしい。</li></ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"><li>・この意見に対しても修正に対して個別に意見を求め、再度各委員にお目通しをいただく形で策定してよろしいか。</li><li>・全会一致により、文章の修正とその確認を条件に、基本構想を策定する。</li></ul>

## ②専門部会（立地複合施設部会）への諮問について

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 前回委員会の指摘により、危機管理担当の職員を部会員として追加している。</li><li>・ 愛媛大学社会共創学部 of 専門家 2 名にも了承を得た。</li><li>・ 立地複合施設専門部会への諮問事項案について協議願いたい。</li></ul>
(諮問事項案)	<p>「市民の利便性、観光客の動線及び歴史的経緯を勘案した上で、津波を含む災害等からの危機に万全を期すことができ、かつ財政的な負担を考慮した改築候補地について、現在地で建て替えた場合、若しくは移転して建て替えた場合について、関係諸法と照合させながら要件を整理し、双方のメリット・デメリットを明確にして答申されたい。</p> <p>併せて、都市再生整備計画事業の活用を前提として、当該事業の要件を満たすことができ、歴史系博物館との親和性が高く、博物館機能と相乗効果が期待できる複合施設等についても答申されたい。」</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全会一致により、この内容にて諮問する。</li><li>・ 立地複合専門部会長の金瀬委員においては、次回開催予定の委員会にて答申されたい。</li></ul>

## ③専門部会の設置及び部会長の指名について

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第 1 回委員会での説明のとおり、展示、設備、サービスについても別途専門部会を設置し、協議研究する必要性を感じている。</li><li>・ この部会の設置について協議願いたい。</li></ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 展示と設備に関しては一体ではないのか。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事務局として課題を提示したに過ぎず、そのことも含めて協議願いたい。</li></ul>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・ やはり、展示と設備は表裏一体であり、一つの部会とされたい。</li></ul>

一同  
議長

- ・賛同多数により一体して展示設備部会とする。
- ・それでは本会に展示設備部会とサービス部会を設置する。
- ・規約により、部会長は委員長の指名であるので、展示設備部会は現伊達博物館長の土居館長を、サービス部会は伊達文化保存会理事長の伊達委員を指名する。

### (3) その他

議長

- ・全体をとおしてなにか意見はないか。

事務局

- ・専門部会は8月と9月に開催する予定としており、その議事録や資料を各委員に送付し、各委員からの意見や要望を徴集するなどして、できる限り連携を密にしていきたい。

## 4 閉会

議長

- ・以上をもって、第3回宇和島市立伊達博物館建替委員会を閉会する。